



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月14日

上場会社名 森六ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4249 URL <http://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三輪 繁信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理担当 (氏名) 下迫 俊司 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	95,244	9.1	4,587	37.7	4,643	30.3	3,836	49.2
30年3月期第2四半期	87,335	—	3,331	—	3,564	—	2,571	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 3,847百万円 (△8.5%) 30年3月期第2四半期 4,206百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	231.87	—
30年3月期第2四半期	173.69	—

(注) 当社は、平成29年10月4日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	131,452	69,020	51.5
30年3月期	133,289	66,672	49.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 67,716百万円 30年3月期 65,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
31年3月期	—	47.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	1.5	8,800	△6.6	8,400	△9.3	6,400	△6.0	386.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	16,960,000株	30年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	414,787株	30年3月期	414,728株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	16,545,236株	30年3月期2Q	14,807,298株

(注) 当社は、平成29年10月4日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内および米国の新車販売台数に弱含みが見られるものの、アジア地域では販売増加が続き、堅調に推移しました。中国では景気減速や貿易摩擦の激化等を背景に販売台数が伸び悩んでいるものの、タイをはじめとする東南アジア地域では拡大基調が続いています。また、EV・PHV推進に向けた動きが顕著となり、車両の軽量化に向けた取り組みは一層加速しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは顧客の生産台数が総じて堅調に推移する中、高品質・高効率製造体質の更なる向上に努めてまいりました。化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格については、前年同期に比べて上昇し、また、為替相場についても円安基調が継続しております。

このような結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は95,244百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面では、営業利益は4,587百万円（同37.7%増）、経常利益は4,643百万円（同30.3%増）となり、投資有価証券売却益926百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,836百万円（同49.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①樹脂加工製品事業

樹脂加工製品事業では、アジア地域で新車販売が堅調に推移していることに加え、国内の生産台数も前年同期比で上回った結果、自動車用樹脂成形部品の受注・販売が順調に拡大しました。その一方、北米拠点においては生産台数は横ばいとなり、新機種の量産時における要員不足や生産トラブルの影響により費用が増加しました。

その他、新製品領域の開発や、EV・PHV促進に向けた軽量化ニーズへの対応等、競争力向上のための取り組みを行ってまいりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は61,131百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は3,885百万円（同45.2%増）となりました。

②ケミカル事業

ケミカル事業では、化学品専門商社の知見と「ものづくり」を通じた事業のグローバル化を加速する中、ナフサ価格が上昇し、新規の取引獲得や顧客ニーズに対応する高付加価値商品を提供するための「ものづくり」を促進してまいりました。特にアジア地域においては、自動車販売台数が堅調であったことから、樹脂等自動車原材料が伸長しました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34,112百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は658百万円（同6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は66,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ885百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が2,796百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が2,840百万円、仕掛品が1,270百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は64,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ951百万円減少しました。これは主に、建物及び構築物(純額)が272百万円、工具、器具及び備品(純額)が263百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は131,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,836百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は48,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,477百万円減少しました。これは主に短期借入金が1,633百万円、支払手形及び買掛金が882百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は14,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,707百万円減少しました。これは主に長期借入金が1,715百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は62,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,185百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は69,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,348百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は19,675百万円となり、前連結会計年度末より2,485百万円増加しました。これは、営業活動によるキャッシュ・フロー10,773百万円が、投資活動によるキャッシュ・フロー△2,475百万円および財務活動によるキャッシュ・フロー△5,604百万円の合計額を上回ったためです。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは10,773百万円となり、前年同期より1,512百万円増加しました。これは主に、売上債権および仕入債務が減少し、税金等調整前四半期純利益が増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,475百万円となり、前年同期より2,048百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△5,604百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少し、配当金の支払額が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績および最近の事業の動向等を踏まえ、平成31年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成30年11月14日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,789	19,585
受取手形及び売掛金	36,459	33,618
有価証券	467	166
商品及び製品	4,530	4,973
仕掛品	2,871	1,601
原材料及び貯蔵品	3,504	4,137
その他	3,140	2,767
貸倒引当金	△46	△19
流動資産合計	67,716	66,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,015	15,742
機械装置及び運搬具(純額)	11,812	11,595
工具、器具及び備品(純額)	5,468	5,205
土地	5,706	5,715
リース資産(純額)	219	192
建設仮勘定	4,397	4,196
有形固定資産合計	43,619	42,647
無形固定資産		
839		896
投資その他の資産		
投資有価証券	19,371	19,362
長期貸付金	75	75
退職給付に係る資産	159	153
繰延税金資産	891	860
その他	624	660
貸倒引当金	△8	△33
投資その他の資産合計	21,113	21,078
固定資産合計	65,572	64,621
資産合計	133,289	131,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,552	23,669
電子記録債務	2,747	3,020
短期借入金	11,925	10,291
1年内返済予定の長期借入金	4,441	4,153
リース債務	83	75
未払法人税等	1,061	884
その他	5,981	6,218
流動負債合計	50,792	48,314
固定負債		
長期借入金	9,263	7,547
リース債務	236	203
繰延税金負債	5,235	5,256
退職給付に係る負債	345	342
資産除去債務	147	147
その他	597	619
固定負債合計	15,825	14,117
負債合計	66,617	62,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,737	4,737
利益剰余金	48,644	50,991
自己株式	△252	△253
株主資本合計	54,769	57,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,968	8,928
為替換算調整勘定	1,153	1,175
退職給付に係る調整累計額	263	250
在外子会社のその他退職後給付調整額	233	245
その他の包括利益累計額合計	10,619	10,599
非支配株主持分	1,282	1,303
純資産合計	66,672	69,020
負債純資産合計	133,289	131,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
売上高	87,335	95,244
売上原価	76,723	82,884
売上総利益	10,611	12,359
販売費及び一般管理費	7,280	7,772
営業利益	3,331	4,587
営業外収益		
受取利息	36	60
受取配当金	194	221
持分法による投資利益	1	1
為替差益	276	20
その他	93	93
営業外収益合計	602	398
営業外費用		
支払利息	317	300
その他	52	41
営業外費用合計	370	342
経常利益	3,564	4,643
特別利益		
固定資産売却益	31	14
投資有価証券売却益	-	926
補助金収入	104	12
特別利益合計	135	953
特別損失		
固定資産売却損	0	1
関係会社整理損	15	-
その他	1	-
特別損失合計	17	1
税金等調整前四半期純利益	3,682	5,596
法人税等	1,057	1,729
四半期純利益	2,625	3,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,571	3,836

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	2,625	3,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,471	△39
為替換算調整勘定	115	21
退職給付に係る調整額	△6	△13
在外子会社のその他退職後給付調整額	0	11
その他の包括利益合計	1,580	△18
四半期包括利益	4,206	3,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,154	3,816
非支配株主に係る四半期包括利益	52	30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,682	5,596
減価償却費	3,504	3,837
固定資産売却損益 (△は益)	△31	△13
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△926
関係会社整理損	15	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
退職給付に係る資産及び負債の増減額	23	△15
受取利息及び受取配当金	△230	△282
補助金収入	△104	△12
支払利息	317	300
売上債権の増減額 (△は増加)	681	3,112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△337	1,203
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,359	△772
その他	680	756
小計	10,558	12,780
利息及び配当金の受取額	206	271
利息の支払額	△304	△304
法人税等の支払額	△1,199	△1,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,261	10,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△342	△45
定期預金の払戻による収入	336	36
有形固定資産の取得による支出	△4,580	△3,242
有形固定資産の売却による収入	52	20
無形固定資産の取得による支出	△31	△137
投資有価証券の取得による支出	△64	△70
投資有価証券の売却による収入	-	949
補助金の受取額	104	4
貸付金の回収による収入	1	3
その他	△0	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,524	△2,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△830	△1,950
長期借入れによる収入	394	191
長期借入金の返済による支出	△2,924	△2,305
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△333	△1,489
非支配株主への配当金の支払額	△5	△9
リース債務の返済による支出	△33	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,732	△5,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	973	2,485
現金及び現金同等物の期首残高	8,902	17,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,876	19,675

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,221	33,113	87,335	-	87,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	1,440	1,547	△1,547	-
計	54,327	34,554	88,882	△1,547	87,335
セグメント利益	2,675	616	3,292	39	3,331

(注) 1. セグメント利益の調整額39百万円には、セグメント間取引消去535百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△495百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,131	34,112	95,244	-	95,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	1,743	1,929	△1,929	-
計	61,317	35,856	97,173	△1,929	95,244
セグメント利益	3,885	658	4,544	42	4,587

(注) 1. セグメント利益の調整額42百万円には、セグメント間取引消去606百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△564百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。